

一般財団法人日本エスペラント協会（JEI）

2022年度事業計画

【0】基本方針・重点課題

1. コロナ禍により、国際語エスペラントの普及発展をめざす本会の事業においても、従来のあり方は大きな変革を迫られたが、オンラインの活用も積極的にとらえ、新たな挑戦を歓迎する「柔軟さ」や「話しやすさ」「助け合い」を基調とする組織作りと会員の拡大を目指す。
2. エスペラント会館（1978年建築）の将来を見据え、「エスペラント会館検討委員会」（2021年発足）を中心に、改修、建て替え、移転等の具体的なビジョンを明確化していく。
3. 多言語・多文化共生時代において、少数言語をはじめ多様な言語の尊重が重要視される今、「橋渡し言語」としてのエスペラントの意義を再確認し、エスペラント界外の組織・個人との協働も視野に入れた活動を推し進める。
4. 各部や各委員会が活性化するように協力者を増やす。各部が横断的に協力できる体制作りも目指す。

【1】エスペラント普及事業（担当：普及推進部）

【1.1】基本方針

1. 国内外のエスペラント団体と連携し、エスペラントの存在意義、魅力を共有し、さらに広報し、エスペラントを普及する活動を行う。
2. 当会会員との連携を強化し、エスペラント関係者やその他の個人、団体とも協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 各部との横断的な協力によって、エスペラント広報事業を活性化する。

【1.2】エスペラント普及推進事業の計画

1. 国内のエスペラント運動の現状を把握し活性化を図る。
 - (1) 『La Revuo Orienta／エスペラント』（RO誌）2022年4月号に発表した「2021年エスペラント運動年鑑」の情報を生かし、活用する。
 - (2) 広域、地域、専門、学校関連など、各種エスペラント団体の、2022年の活動に関する情報を収集し、RO誌2023年4月号に「2022年エスペラント運動年鑑」として発表し、各エスペラント団体の間の情報共有を促進する。
2. 各種エスペラント団体と協働し、エスペラント団体の活性化に寄与する。
 - (1) 地方エスペラント連盟の大会などに理事・協議員が出席し、各地のエスペラント運動について意見交換を行うように努める。
 - (2) 「エスペラント運動年鑑」や「エスペラント会懇談会」の連絡網（メーリングリストなど）の整備を行い、情報の共有、経験交流を図り、エスペラント団体間の情報共有を推進する。

3. 会員の拡大・定着に努める。
 - (1) 引き続き会員の拡大、定着のための方策を検討し実行する。
 - (2) 青年エスペラント企画支援金を活用して、青年層のエスペラント活動を支援する。
 - (3) 青年層にエスペラント活動の場を提供する団体にも青年エスペラント企画支援金の活用を促す。
4. エスペラント運動に功績があった個人・団体に「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

【1.3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会ウェブサイトにおいて、エスペラントに関する広範な情報を、一般向けによりわかりやすく提供できるよう内容の充実を図る。
2. インターネットに関しては、本会ウェブサイト以外にも SNS、動画サイト等を活用しより広い層への広報活動を行う。
3. 外部向けのニュースリリース「エスペラントの今」の発行を行う（年4回程度）。
4. エスペラント外部の団体等との接触の機会を逃さず、先方行事や先方企画への参加参画により、交流・相互協力・協働を推進する（従前の多言語・多文化共生領域やそれ以外の領域についても）。
5. 第109回日本エスペラント大会（八王子市）を機会とした、広報活動を行う。
6. 世界的な「エスペラントの日」（『第一書』の発表された7月26日）や、日本の「エスペラントの日」（6月12日）を機会とした、広報活動を行う。
7. 世界エスペラント協会（UEA）とも協力し、広報活動を行う。

【2】エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

【2.1】基本方針

1. エスペラントによる国際交流事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio=UEA）の日本における国別代表組織として推進する。UEA のアジア・オセアニア委員会（Azia-Oceania Komisiono = KAOEM）、日本の UEA 委員、UEA-delegito（都市代表者）と協働する。
2. 日本のエスペランティストが行うエスペラントによる国際交流事業を支援する。
3. 外国のエスペランティストに日本国内のエスペラントによる国際交流事業への参加を促す。

【2.2】国際交流事業の計画

1. 2022年度に開催される国内外のエスペラントによる国際交流行事への参加・協力を呼びかける。特に青年層に「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度を活用しての参加を呼びかける。
 - (1) 第107回世界エスペラント大会（カナダのモントリオール、8月6日～13日）。UEA 委員には委員会への出席を支援し、日本のエスペランティストには大会への参加・協力を呼びかける（ただし、大会参加旅行団は本年度もコロナ禍のため実施しな

- い)。
- (2) 第78回国際青年エスペラント大会（オランダのウェステルベール、8月20日～27日）。
 - (3) 第10回アジア・オセアニアエスペラント大会（韓国の釜山、11月3日～6日）。
 - (4) 第40回東アジア青年エスペラントセミナー（中国）。
 - (5) 日本国内外やオンラインで開催されるエスペラントによる国際交流事業に協力し、参加を呼びかける。
2. 日本のエスペランティストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
 3. KAOEMの機関誌 Esperanto en Azio kaj Oceanio（季刊）の編集・印刷・発送の支援を行うと共に、広く購読（UEAアジア・オセアニア基金への寄付）を呼びかける。

【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3.1】基本方針

各種事業で継続してインターネットの活用を進める。また、外国語教育や国際交流活動におけるエスペラントの有用性をさまざまな機会をとらえ社会に提示していく。

1. 教育部門は、オンライン会議システムを用いて、地域を問わずエスペラント学習者の語学力向上の支援に努める。
2. 研究部門は、日本エスペラント大会の場に加え、それ以外の場でも研究成果発表場を提供し、学際的・多面的視野からエスペラント研究の発展と増強を図る。
3. ハヶ岳エスペラント館については新型コロナウイルス感染症の動向を考慮して適宜開館状況を見直し、本会の研修施設として活用する。

【3.2】研究教育事業の計画

1. エスペラントのオンラインでの学習や学習支援を充実させていく。下記の2つのコンテンツを活用し、エスペラントに興味を持つ人や学習者が本会を活用できる場を作る。
 - (1) ウェブ教材「ドリル式エスペラント入門」の活用を推進し、学習支援事業を継続する
 - (2) 遠隔地からでも参加できるオンラインセミナーを開催する。
2. 学力検定試験を、年2回（日本エスペラント大会時、3月）の定期実施の他に、随時、国内各地での受験希望にできるだけ応じて実施する。新検定基準を公表し、特に4級3級については気軽に受験できるよう広報に努める。
3. UEAの主催するKER試験（ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR準拠のエスペラント試験）の実施に協力する。
4. 日本エスペラント大会で研究発表会および文芸コンクールを実施する。
5. 研究発表会は、オンライン形式でも行うことを検討する。

【3.3】ハヶ岳エスペラント館における事業の計画

1. 新型コロナウイルス感染症対策を実施して、安心・安全な利用ができるようにする。
2. 快適な宿泊研修活動ができるよう、設備更新・館の保全を図る。

3. エスペラント漬け合宿（NEK）等、研修を行う。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4.1】基本方針

1. 雑誌『La Revuo Orienta／エスペラント』（RO誌）を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。
 - (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
 - (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
 - (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
 - (4) 読者のエスペラント経歴の深浅にかかわらず、魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. RO誌を下記のように刊行する。
 - (1) 印刷版としてA5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。
 - (2) 電子版は、個人会員に本会ウェブサイト内の会員専用ページで提供する。
 - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版CDを発行する。また点字版の制作に協力する。
2. 編集体制については下記の方針とする。
 - (1) 将来の電子化、ウェブ化中心の誌面に向けて、検討・試行を行う。
 - (2) 具体的な内容については毎月の編集会議で協議する。年に1回、拡大編集会議を開く
3. 各号は、ニュース記事・定例記事・特集記事など多様な内容とし、日本語文とエスペラント文の双方を掲載するよう編集する。特集記事は、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集会議で計画する。
4. 他部門との連携により、一部の号は増ページした特集号として発行する：4月号に普及推進部と「エスペラント運動年鑑」特集、2023年1月号に大会組織部と「第109回日本エスペラント大会報告」特集。

【5】図書等刊行・頒布事業（担当：出版部）

【5.1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また国外で発行されたエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5.2】図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を検討する。またその他、具体的な出版物の案がある場合検討する。

- (1) 本会刊行図書の電子出版を検討する。
- (2) 阪直氏ホームページ『週刊やさしい作文』の出版を検討する。
2. 今後の出版物の準備、計画を行う。
- (1) 『日本語エスペラント辞典』（宮本正男編）の全面改訂作業を新日本語エスペラント辞典編集委員会のもと進めてゆく。刊行時期の明確化に努める。

【5.3】 図書頒布事業

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。
2. 「エスペラント読書相撲」、読書会の推奨、ウェブを活用した宣伝などを通じて、エスペラント図書の拡販に努める。
3. 「日本エスペラント協会在庫図書カタログ」を更新する。

【6】 エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6.1】 基本方針

1. 日本エスペラント大会は、国際語エスペラントの実用及び活用、並びに学習、研究及び創作の発表の場であるとともに、エスペラントの存在を社会に知らせ、普及を進める催しでもある。同時に日本国内外のエスペランティスト同士が交流し、親交を深め、エスペラント界の文化を高める場でもある。本会はこのような意義を持つ本大会を、日本各地のエスペランティストとの協力を得ながら毎年開催する。
2. 本大会の開催が、共同主催団体の活性化と開催地域でのエスペラントの普及推進に寄与できるよう努める。
3. 本大会の毎年の開催を持続可能なものとすべく、経験の蓄積と共有を行う。

【6.2】 日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 第109回日本エスペラント大会を、東京都八王子市において次の要領で開催する。
 - (1) 開催日：2022年9月23、24、25日（金祝・土・日）
 - (2) 会場：八王子学園都市センター
 - (3) 共同主催団体：日本エスペラント大会八王子委員会
 - (4) 開催方法：現地参加とオンライン参加のハイブリッド方式
2. 2023年の第110回日本エスペラント大会の開催地・開催方法を決定し、開催準備を進める。
3. 2024年以降の日本エスペラント大会の開催地について、第3回日韓共催大会を含め検討を進める。
4. 日本エスペラント大会の開催を持続可能なものとするために、オンライン開催を含めた準備・運営体制の見直しを進める。

【7】 その他事業及び法人の管理（担当：総務部、財務部、ウェブ管理部）

【7.1】 基本方針

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、各事業部門とも連携して、事業が円滑に行われるよう支援する。
2. 本会が保有する図書・視聴覚資料等の保存について、デジタル化を含めた方策の検討を始める。
3. 今後起こり得る様々な状況に備え、本会の管理・運営方法を改善する。特に、新任の役員等に対しては運営上のルールや方針を記したマニュアルを整備し、支援する。

【7.2】 総務部担当事業の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局及び関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て、着実に実行する。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
3. 図書館整備事業のうち、データベース作成作業に取り組み、図書館の整理作業も継続して行う。
4. 図書販売促進のため、行事を利用した機会の他、ウェブの活用を強める。
5. エスペラント会館5階倉庫にある不良在庫本や委託販売本の現状を確認し、整理を行う。
6. エスペラント会館検討委員会および本年3月に発足したJEI図書館のあり方検討チームの検討に伴い、今後必要となる資金のための寄付募集を検討する。
7. 本会事業の継承のため、および理事・協議員の資料へのアクセスを容易にするための電子情報保管庫の利用を促進し、支援する。
8. 会議や行事はできる限りリモートでできるよう、体制・設備を整え支援する。
9. 緊急時対応マニュアルの制定を行う。

【7.3】 財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画と整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営に努める。

【7.4】 ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会ウェブサイトが、本会事業の広報はもとより、広く利用者にエスペラントに関する有用な情報を提供できるよう、維持管理を行う。また、点字ファイル保管庫の充実、ウェブ・アクセシビリティへの対応等、本会ウェブサイトの利便性向上のために必要な措置を行う。
2. SNS、動画サイト等によるエスペラントの広報を支援する。
3. 会員ページ（本会会員がパスワード付でアクセスするページ）で、会員に有用な情報提供の充実を図る。

4. 本会のあり方に対応したウェブ共同運営体制を構築するための検討をおこない、段階的に実行に移す。また、新たなクラウドストレージの検討なども含め、本会業務の円滑な遂行に有益な情報技術利用を支援する。
5. 販売図書管理の効率化のため、出版部、編集部、総務部（事務局）と協力してシステム化を検討する。
6. 「本格的にエスペラントを学ぶほどではないが、雑学・語学教養としてかじってみよう」というライト層向けに、普及推進部、研究教育部と協力してコンテンツの維持・拡充を行う。
7. 日本大会ウェブサイトの作成と維持管理を行う。
8. ウェブサイト全面リニューアルの計画策定を行う。
9. 関係部局と協議をして、電子書籍の発行への対応を検討する。

以上